

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	農事組合法人 志賀高原培養センター生産組合					
代表者名	氏名	秋山 秀樹	役職名	組合長		
主たる事務所の所在地	長野県下高井郡山ノ内町大字佐野字北原1275					
主たる事業の分類	大分類	A 農業、林業				
	中分類	01 農業				
主たる事業の概要	えのきたけ培養基製造(培養部) えのきたけ栽培・出荷(栽培部) えのきたけ包装(パッケージ部)					
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☒	上記以外(任意提出)の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	547.15	525.32	524.56		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,218.25	/	1,164.89		
調整後排出量	t-CO ₂	1,218.25		1,174.28	1,164.89	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	15		15		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度
------	------	----

計画期間	2023	年度～	2025	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2023	年度
--------	------	----

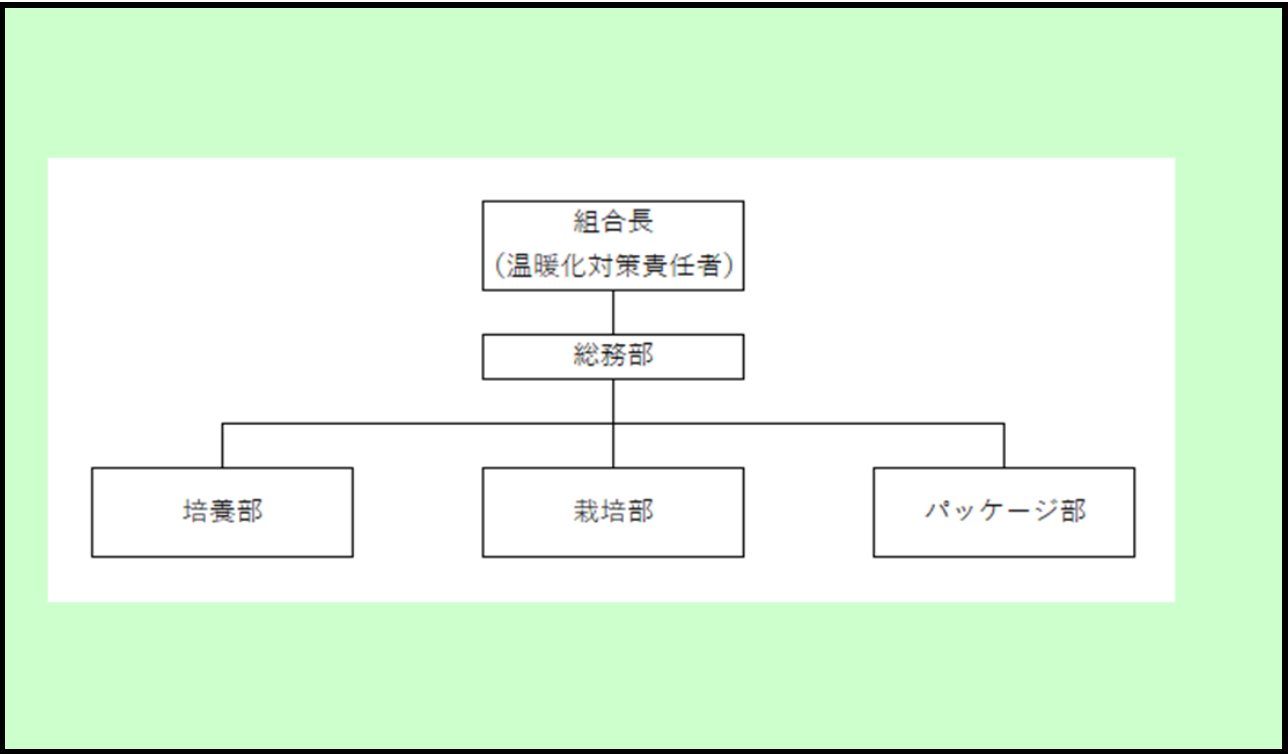
3 計画書(報告書)の公表方法等

☐	ホームページ	【閲覧可能場所】 志賀高原培養センター生産組合 山ノ内町大字佐野字北原1275 【担当部署】 培養部 【閲覧可能時間】 9:00～16:00 【連絡先】 TEL 0269-31-1105
☒	印刷物の閲覧	
☐	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

冷凍機を最新型の省エネ冷凍機に更新する事で、冷凍能率を向上させ、CO2排出量を削減する。						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	無	目標年度	年度	削減目標		
削減計画の概要						
イニシアチブ 参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言 RE Action	☐ その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化対策推進会議（月一回）

様式 1 号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,218.25	t-CO ₂	延べ床面積	33.33	単位	百平米
2022年度	調整後排出量	1,218.25	t-CO ₂	基準原単位	36.55	t-CO ₂ /	百平米
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	1,174.28	t-CO ₂	目標原単位	35.23	t-CO ₂ /	百平米
2025年度	目標削減率	3.60	%	目標削減率	3.60	%	
目標設定に関する説明	CO2排出量を3.6%削減する。						
第一年度	排出量	1,164.89	t-CO ₂	延べ床面積	33.33	単位	百平米
	削減率	4.38	%	原単位	34.95	t-CO ₂ /	百平米
2023年度	調整後排出量	1,164.89	t-CO ₂	原単位削減率	4.37	%	
	削減率	4.38	%				
排出量等の増減理由	冷凍機を最新型の省エネ冷凍機に更新したため。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6 の 2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式 1 号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	熱源設備	冷凍機の更新	2023	43.97	2023	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	49.5	0	49.5		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	1,218.25	2	1,164.89				
合計	2	1,218.25	2	1,164.89				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計				

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	15	15		
次世代自動車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	取引先への訪問時は、積極的に公共交通機関を利用している。 駅から近い事業所（パッケージ部）には電車を使用していただく。
自転車の利用促進	通勤で、自転車通勤が可能な従業員は自転車を使用している。従業員10人が自転車通勤。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	
物流の合理化	パッケージセンターに包装施設を一括化する事で、出荷先（JA集荷センター）への輸送の合理化を図っている。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☐	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している	
☐	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称	
☐	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
☐	ZEB	の認証を取得している	
☐	デマンド・レスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
☒	その他	植物由来包装フィルムの使用によるSDGsの取り組み。	2022

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

・太陽光パネルを設置し、環境にやさしい電力発電に寄与している。 ・自社オリジナルのパッケージフィルム（えのきたけ包装フィルム）は、環境に配慮した植物由来原料のグリーンポリエチレン（サトウキビから砂糖を精製する工程で出てくる副産物）を10%配合したフィルムを使用しています。（バイオマスNo.190052）このフィルムは2021年5月から導入され、これまでに約180万袋のえのきたけが出荷されました。これは従来のOPPフィルムを使用するよりも10tのCO2の削減効果があります。 ・えのきたけ包装フィルムの厚さを23ミクロン（0.023mm）を20ミクロン（0.02mm）に変更する事でCO2の削減を目指します。2024年1月から更新予定。 ・廃培地（コーンコブ廃菌床）を町内農家に使用してもらう取り組みを設立当初から継続しています。年間約500tの廃培地を町内農家（果樹・野菜・畜産）に還元しています。これにより、県外に搬出する輸送燃料の低減と、農家の化学肥料投入の低減効果と地力の向上に寄与しています。 ・計画的な最新省エネ冷凍設備の更新による、省エネルギー化の実現。
